



二亀中だより

<4月号>

令和8年(2026年)4月30日(木)発行

HP <https://2kame-chu.koto.ed.jp/>

江東区立第二亀戸中学校

江東区亀戸 4-51-1

校長 坂下 真人

正門の片隅から

校長 坂下真人

緑美しい葉桜からのぞく光がまぶしく感じる季節となりました。あらためまして、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

さて、皆さんは本校の正門の片隅に、ひっそりと咲くタンポポに気づかれたでしょうか。最近、街で見かけるタンポポの多くは、一年中どこでも花を咲かせる「セイヨウタンポポ」という外来種が主流となりました。しかし、本校の正門脇に咲いているのは、今ではあまり見かけなくなった日本古来の「カントウタンポポ」です。



この日本タンポポには、ある特徴があります。それは、春の限られた時期にしか花を咲かせないこと。そして、外来種に比べて種の数が少ない代わりに、一つひとつの種が大きく、栄養をたっぷり蓄えて芽吹きの時を待つという点です。華やかさは控えめかもしれませんが、土深く真っ直ぐに根を伸ばし、冬の寒さに耐え、自分にふさわしい「かがやく春」が来るのをじっと待っていたのです。

新学期を迎えた子どもたちも、このタンポポに似ています。新しい環境に期待を膨らませる一方で、少しの不安を抱えながら、自分なりの「根」を一生懸命に張ろうとしています。成長のスピードは一人ひとり違います。すぐに大輪の花を咲かせる子もいれば、じっくりと根を伸ばし、自分だけの春を待つ子もいます。私たちは、正門の片隅で力強く生きるタンポポを見守るように、子どもたちがそれぞれのペースで学び、個性を伸ばしていけるよう、温かく寄り添い、支えて参りたいと思います。

本年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校キャラクター

「にかちゃん・こにかちゃん」



